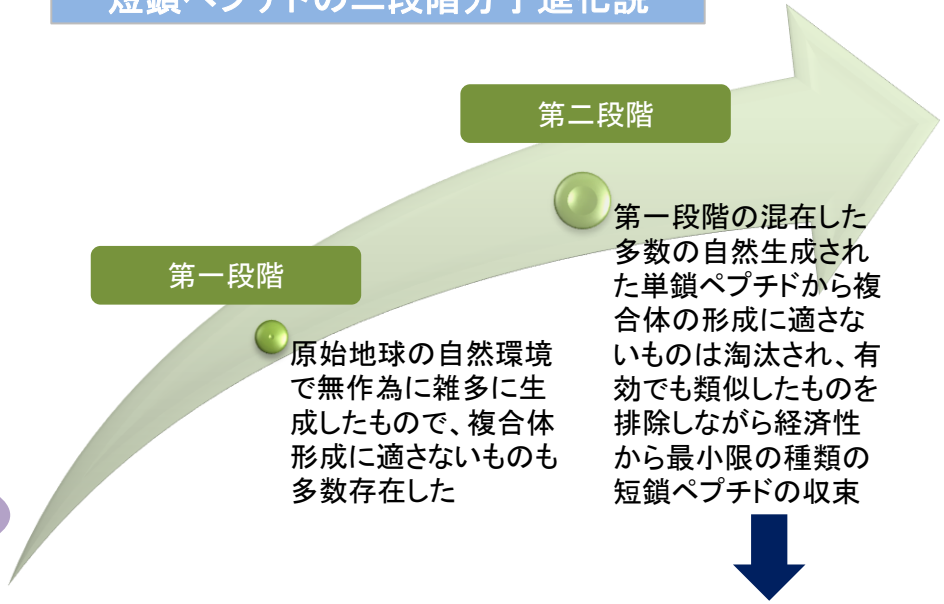


40億年以上前の地球

アミノ酸他、多数の有機化合物、又は無機化合物の出現

短鎖ペプチドの出

短鎖ペプチドの二段階分子進化説



短鎖ペプチド複合体の二段階複

- 第一段階**
 - 一定の多様な短鎖ペプチド構成体の生成と蓄積
 - 《天然タンパク質との共通性》: 固有のタンパク質をコードする遺伝子の塩基配列が転写され、リボソームを介して新生ポリペプチド鎖が生合成される段階
- 第二段階**
 - 個別短鎖ペプチド複合体の獲得装置の存在
 - 鋳型的短鎖ペプチド複合体の生成
 - 《天然タンパク質との共通性》新生ポリペプチド鎖の一次構造が自動的に折りたたまれて、最終的に個中のタンパク質の立体構造が形成される。

